

教室の^と憲から

繰り返し繰り返しの活動で基礎・基本を身に付けよう

理事 児玉元治(韜光)

次の正しいと思うものには○印を間違っていると思うものには×印を記入しなさい。

- 1 () 車道に人が倒れていたのに、周囲の安全確認をせずに近づいた。
 - 2 () 乳児に対する反応の確認は声をかけながら行うが、足の裏を刺激することも有効である。
 - 3 () 3歳小児でAEDパットの小児用がなかったため成人用を使用した。
 - 4 () 子どもがケイレンを起こしたので、舌をかまないように口の中にスプーンを入れた。
 - 5 () 手にやけどを負ったので服を脱がさずに直ぐに水で冷やした。
- この問題は先日の上級救命講習のときに行われた最後の試験の問題の

一部です。8時30分〜5時15分。講話と実技でした。このような講話と実技は1月15日〜16日に受講した防災士養成講座以来でした。

この日のメインはAEDの扱い方でした。講師が仕方と実技をした後、二人のペアで何度も何度も実技を繰り返しました。

- (傷病者発見) … (周りの状況よし)
- … (傷病者に近寄り大丈夫ですか、大丈夫ですかといかける)
- (呼吸してないことの確認) … (助けてください。あなたは119番に連絡してください。あなたはAEDを持ってきてください) … (人工呼吸を続ける) … (AED到着) … (あなたAEDが使えますか) … (はい、使えます) … (すぐセットしてください) … (2枚を胸、横腹に貼付) … (貼つてる間も人工呼吸を続ける) … (そのうちにA

E Dが指示を出してくれる) … 救急車が到着したら任せる。

緊張して言葉が出ない、大丈夫ですかを抜かすなどどうなることか不安でした。必死で声を出し、大きな動作を心掛けました。試験官が項目ごとにチェックします。終わつたときは背中が汗びつしよりでした。終了後合格証をいただき、次のようなことに気づきました。

- ①命を救うためAEDを取り扱う。
 - ②AEDを正確に取り扱うためには技術を身に付ける。
 - ③繰り返し繰り返しの活動で基礎・基本を身に付ける。
- これからAEDを扱える自信がつき、いざというときに人助けができる、素晴らしいと思います。③の基礎・基本を繰り返し繰り返して身に付けることの大切さは書写書道と全く同じだと痛感しました。
- (1は×、2は○、3は○、4は×、5は○)